

神奈川県の水源地環境保全・再生施策に係る神奈川・山梨両県による 「私有林（人工林）現況調査」の調査結果について

神奈川県と山梨県は、「かながわ水源地環境保全・再生実行5か年計画」に位置づけられた「相模川水系流域環境共同調査」に共同で取り組んでいるところですが、このたび平成20年度に実施した「私有林（人工林）現況調査」の結果を取りまとめましたので、19年度の結果と併せて報告します。

1 目的

水源地環境の保全・再生のため、今後、山梨県内の桂川・相模川流域において実施の必要性が想定される対策の内容や、その実施地域を検討するための基礎資料を得ることを目的に調査を実施する。

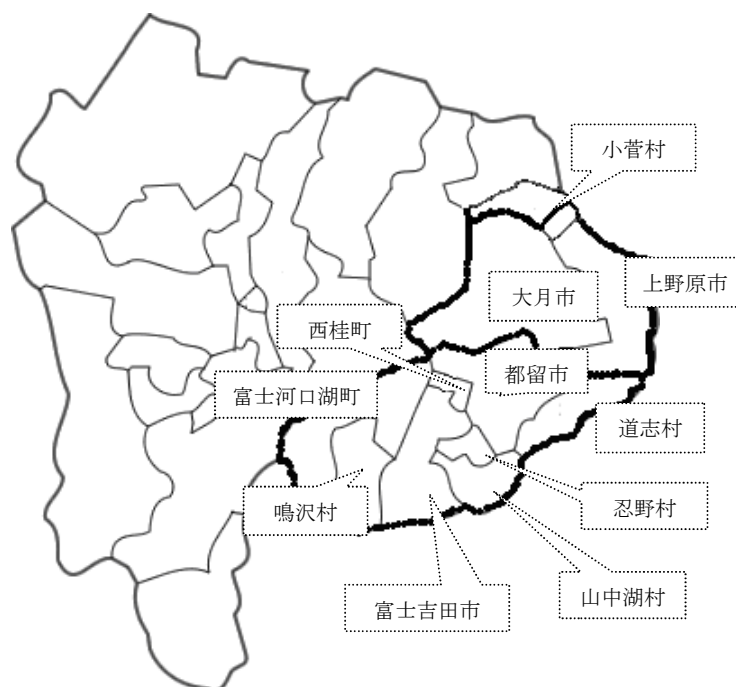
2 調査対象森林

私有林(会社有林、法人有林、個人有林等)のうちの人工林

3 調査対象地域

桂川・相模川流域の次の4市2町5村、計11市町村を調査対象地域とする。
ただし、調査の具体的な範囲は、市町村界ではなく、流域界に基づき判断する。

4市	富士吉田市、都留市、大月市、上野原市
2町	西桂町、富士河口湖町
5村	道志村、忍野村、山中湖村、鳴沢村、小菅村



4 調査スケジュール

平成19～20年度の2か年のスケジュールで、平成20年度については、富士吉田市、都留市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村を対象に調査を実施した。

調査年度	調査対象地域
平成19年度	大月市、上野原市
平成20年度	富士吉田市、都留市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村

5 調査内容

- 調査対象森林について、目視等による現地調査を行い、概況を把握した。
- 今回及び平成19年度の現地調査の結果に、平成18年度に山梨県が実施した調査のデータを統合し、取りまとめた。

6 調査結果

今回及び平成19年度の現地調査の結果に、平成18年度に山梨県が実施した調査のデータを統合し、次の結果を得た。今後、調査結果に基づき神奈川・山梨両県が共同で対策の内容や実施地域について検討していく。

調査年度	調査対象森林 面積 (A)	左記のうちの荒廃林 (※)	
		面積 (B)	割合 (B/A)
平成19年度	9,072ha	3,580ha	39%
平成20年度	11,783ha	8,757ha	74%
合計	20,855ha	12,337ha	59%

※ 非常に混みあっている森林(収量比数0.85以上の森林)を荒廃林とした。
 (収量比数とは、森林の混み具合を表す指標で、0から1の間で表される。
 1に近いほど森林が混んでいることを表す。)

7 面積内訳

調査年度	市町村名	調査対象 森林面積	荒廃林面積	森林全体面 積 (参考)
平成19年度	大月市	3,949ha	1,338ha	24,371ha
	上野原市	5,123ha	2,242ha	14,027ha
小計		9,072ha	3,580ha	38,398ha
平成20年度	富士吉田市	1,213 ha	1,092ha	8,530ha
	都留市	3,467 ha	2,478ha	13,614ha
	道志村	2,017 ha	1,117ha	7,447ha
	西桂町	590 ha	421ha	1,202ha
	忍野村	828 ha	685ha	1,354ha
	山中湖村	930 ha	733ha	3,041ha
	鳴沢村	403 ha	369ha	5,917ha
	富士河口湖町	2,203 ha	1,753ha	11,496ha
小菅村	133 ha	112ha	662ha	
小計		11,783 ha	8,757ha	53,263ha
合計		20,855 ha	12,337ha	91,661ha

※ 端数処理の関係で合計は一致しない。

※ 鳴沢村、小菅村については、桂川・相模川流域以外の地域を除外している。

問い合わせ先

政策部土地水資源対策課

水源環境保全担当課長 星崎 電話 (045) 210-3101 (直通)

計画調整班 長谷川 電話 (045) 210-3109 (直通)